

## 事業の現況における課題

### 【区画整理事業における課題】

- 1 津波による被害の著しいエリアでは、多重防御と言われても実感がなく、居住することへの恐怖感が先行する住民が多い。その中で「まちづくり」の提案、議論を進めるには想像以上に困難な状況である。

- 2 土地区画整理事業では、その脆弱な土地基盤の改善はできるが、個々の宅地の復興という側面で直接的な支援はできない。加えて、復興推進区域以外の被災地においても同様であり、その部分への支援策が求められる。



### 【都市施設基盤への課題】

- 1 スピード感を持った用地取得が必要である。
- 2 同時期に複数の事業実施にあたり、対応する職員不足の解消
- 3 幹線道路に接続する生活道路の充実

### 『市街地再開発事業』

- ◆土地の集約・共同化を行い、新たな建築物を建築します。
- ◆まちなか居住を促進するとともに、賑わい・交流空間、美しい街並み、快適な生活空間を創出します。

#### 凡例

-  中心市街地  
活性化基本計画範囲
-  再開発予定区域

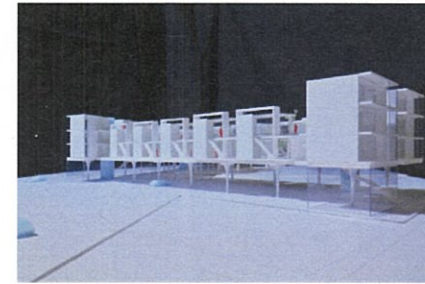
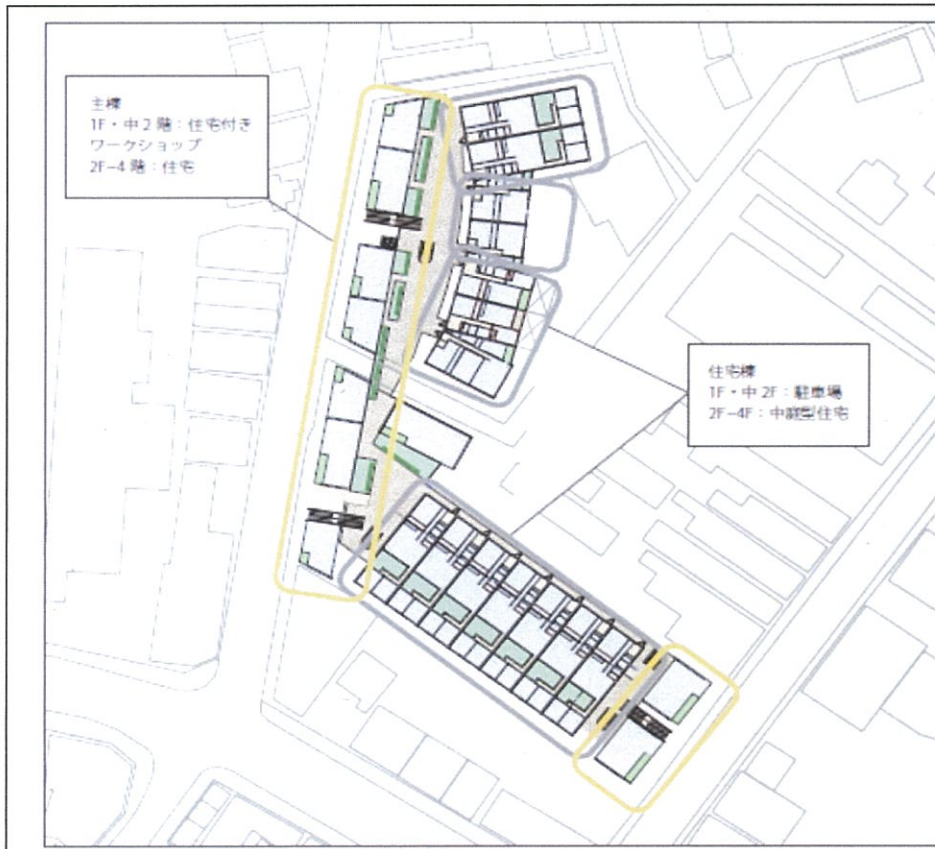


## 各地区の概要

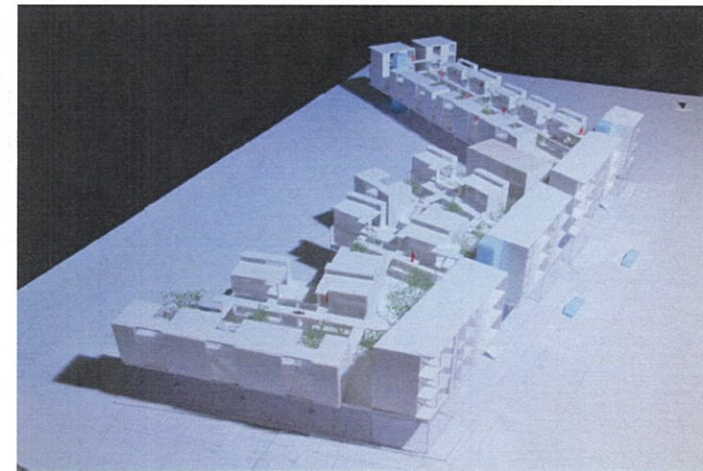
	地区名	面積	開発概要
①	中央一丁目14・15番	約1.1ha	災害公営住宅及び分譲住宅など、街なか居住を意識した事業を展開しようとしている。河川堤防と一体となった整備を検討している。
②	中央二丁目11番	約0.7ha	街なか集客拠点として、生鮮マーケットなどをはじめとした、にぎわい交流施設整備の事業を展開しようとしている。河川堤防と一体となった整備を検討している。
③	中央二丁目9番	約0.9ha	地域住民によって、震災以前から再開発事業の検討がされていたが、今回の震災を機に改めて事業の検討を行っている。
④	中央三丁目1番	約0.5ha	保留床に災害公営住宅及び分譲住宅を想定し、街なか居住を意識した再開発事業を展開しようとしている。今年度、事業着手に向けた都市計画決定を予定している。(別紙参照)
⑤	立町二丁目5番	約0.5ha	保留床に災害公営住宅及び分譲住宅を想定し、街なか居住を意識した再開発事業を展開しようとしている。今年度、事業着手に向けた都市計画決定を予定している。(別紙参照)
⑥	立町一丁目5番	約0.8ha	商工会議所を含めた区域で計画されており、街なか居住としての災害公営住宅及び分譲住宅、にぎわい交流の場としての商業施設などを検討している。

# 中央三丁目1番地区の概要

12



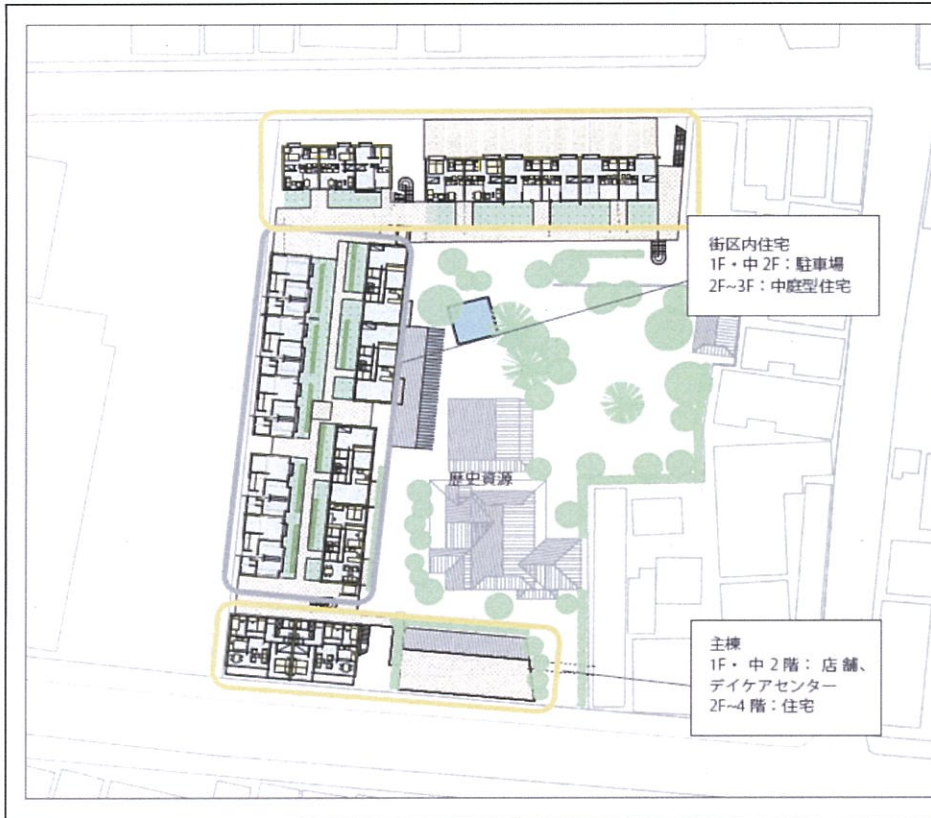
※地元検討案



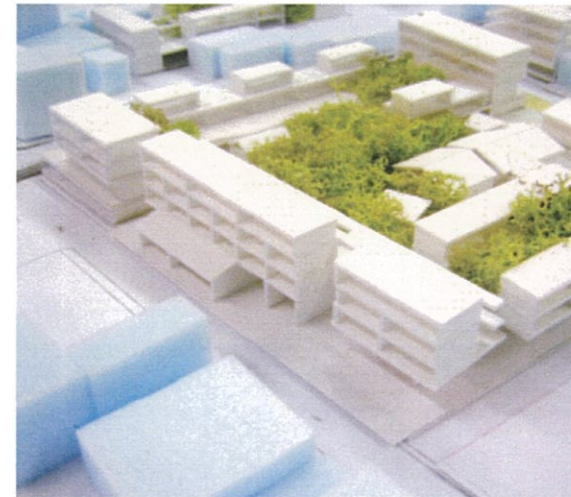
・津波、高潮の危険を避けるために、1階部分をピロティー形式として、2階部分を人工地盤として計画。1階を非居住の駐車場、店舗等にし、その上にまちなか居住を基本として災害公営住宅及び分譲住宅を計画。

平成24年度				平成25年度				平成26年度			
4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
基本計画				都決				事業計画			
				設立認可				権利変換			
				建築工事(平成25年度中の完成を目標)							

# 立町二丁目5番地区の概要



※地元検討案



- ・津波、高潮の危険を避けるために、1階部分をピロティー形式として、2階部分を人工地盤として計画。1階を非居住の駐車場、店舗等にし、その上にまちなか居住を基本として分譲住宅及び災害公営住宅を計画。
- ・建物概要は、災害公営住宅、分譲住宅、店舗、ケアハウスなどが計画されている。
- ・旧家の庭を取り囲むようにして癒しの空間が創出されている。

平成24年度				平成25年度				平成26年度				
4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	
基本計画			都決	事業計画		設立認可	権利変換		建築工事(平成25年度中の完成を目標)			